

ディーラーの独り言（2018年8月31日）

◆本日の予想レンジ

ドル円 110.80～111.80 ユーロドル 1.1600～1.1700

30日の外国為替市場は、日経平均株価が前日の好調だった米株式市場の流れを受けて一時184円高の23032円へ上昇する中、ドル円は111円台後半で推移した。しかし、日経平均株価が午後の取引開始直後にマイナス圏へ反落、その後も上値が重く小幅な上昇に留まったことからドル円も111円75銭を高値に上値が重い値動きが続いた。海外市場にかけては、トルコ中銀副総裁が辞意を表明したことを受けてトルコリラが下落、アルゼンチンペソも対ドルで過去最安値を付ける中、緊急利上げを実施する事態となるなど対ドルを中心に新興国通貨売りが鮮明となり、リスク回避姿勢から相対的に円が買われる展開となり、クロス円の下落と合わせてドル円も111円台前半まで下落する軟調な値動きとなった。さらにニューヨーク市場では、トランプ米政権が来週中にも中国製品2000億ドル相当に制裁関税を発動させる可能性があるとの一部報道を受けてドル円は売り優勢となり、一時111円を割り込み110円95銭の安値を付け、そのまま111円00銭で取引を終えている。好調だった米株式市場もさすがに昨日は5営業ぶりに反落し、NYダウが前日比137ドル安となったこともドル円の売りに影響したようだ。

肝心のディーラーでは、昨日は押し目買い戦略をとり、111円60銭台でドルロングに傾けたものの、期待した売り水準まで届かず、ドル円が大きく値を下げる展開に予想レンジ下限を下回ってしまったため、111円30銭割れでロスカット。これで今週2連敗、月末というのに収益を伸ばせない不甲斐ない状況だ。本日は110円台で買い、111円40銭超えで売る押し目買い戦略で臨み8月を締めくりたい。

※都合により本日限りで「ディーラーの独り言」の掲載を中止させていただきます。

ご了承のほどよろしくお願いします。

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡ま

たは使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。